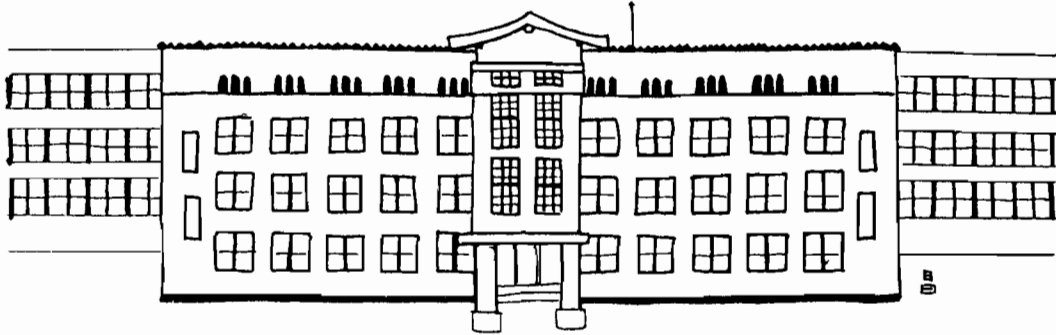


鴨沂高校同窓会報

NO. 2 OCT. 1995 京都府立鴨沂高等学校同窓会 〒602 西陣郵便局 私書箱 20号



「50年」を考える

京都府立鴨沂高等学校長 北村貞二

今年の夏は予想に反して猛暑となりましたが、同窓会の皆様は如何お過ごしでしょうか。

ご承知のとおり、本校は2年後に設立50周年を迎えます。昭和23年に京都府立京都第一高等女学校が府立鴨沂高等学校に衣がえして以来、2万名を越える卒業生を送りだし各界で活躍する諸兄弟は枚挙に遑がありません。

10年ひと昔と申しますが、50年の歳月は、時間の上でも営みの上でも、それ相当の重みをもちます。先日も歴史年表をくってみると、1945年以降のめくるめくような流れは別として、その先の1895年は、日清戦争の終わった年でした。おそらく、当時の日本人は提灯行列に熱狂し、まさかその50年後に地獄の底を見ようとは思ひもしなかったでしょう。といてここで人間の愚かさをこざしくいいたてる気は毛頭ありません。むしろ50年を単位にすると、人間は測り知れない力を発揮することもあり得る反面、絶頂から一気に奈落へ沈むこともあり得るものだと、身にしみて思いしらされます。

我々はともすれば小さな尺度で計量し判断しがちですが、ゆったりした時の流れの中で大きなスパンで考えることが、今後の教育には肝要だと考えます。社会を50年、100年の単位で展望すると、今まで見えなかったもの、見ようとしなかったものが浮かび上がります。そうした視点で時代を切り拓いてゆくことがこれからは大切になります。

そして新制高校発足時の新しい国づくりにむけた息吹を、同窓会からひきつぐとともに新しい時代の創造のために「ゆるぎなくたくましい人間」づくりに励む所存であります。

どうか同窓会諸兄弟の旧来にかわらぬご厚情とご支援を母校に寄せていただくようお願いして、結びといたします。

ご挨拶

同窓会長 秋田宗平 1期

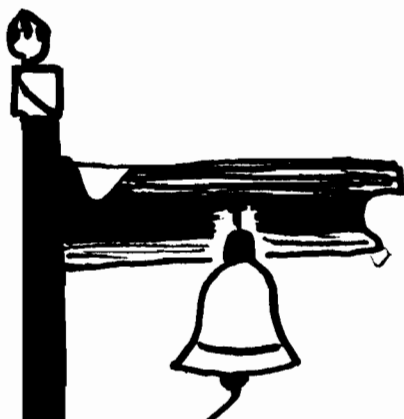
同窓生の皆様、お元気のこととお喜び申し上げます。昨年の同窓会会報に引き続き、ほぼ一年振りになる10月29日開催の「母校に集まる会」のご案内をかねてこの会報をお届けします。

ここ数年来、有志による準備会において同窓会の活性化を図りいろいろと活動をして参りました。その結果としてまず、卒業生全員約23000名の中、約18000名(住所判明者)に呼び掛け、お集まりいただけた方々の間で今後の同窓会の活動についてご相談をお願いする「母校に集まる会」から始めます。

第一は、会則改正について、であります。同窓会の運営は会則によって行われる事は言うまでもありませんが、同窓会の活性化のためにはこの会則の検討が必要と考えます。そのため必要な改正は総会で決定されねばなりません。準備会は、出来るだけ早い総会の開催決定を提案します。

第二は、記念事業について、であります。1998年に母校は創立50周年を迎えますが、同窓会として記念事業をおこなうかどうかについてご相談いたします。計画案としては、例えば、お茶室の修理、ピアノ(スタインウェイ)の復元修理、校史編纂、図書整理などが考えられます。実際に行うことになれば、学校側とも良く相談し、募金委員会などを設ける必要が生じるでしょう。

久しぶりに母校に集まるみなさんを迎えるためのイベントも用意いたしましたので、当日午後の一刻をお楽しみ下さい。



ご案内

母校に集まる会

来る 10月29日(日)

午後 1時

於て 鴨沂高校講堂

プログラム	12:30	開場	
	13:00	開会	スクール・ソング 吹奏楽同好会
		挨拶	鴨沂高校校長, 同窓会会長
		議事	(1) 総会開催について (2) その他
	14:30	講演	わがマンガ人生 吉富康夫 (11期)
	15:00	狂言	寝音曲 木村 要(1期), 大河内雅彦(3期)
	15:30	閉会	

展示 10:30~16:00 新聞部, バドミントン部 ほか

入場無料, なお校内では禁煙にご協力ください。

学生食堂は22期の前川博基氏の厚意で11時に開店します。自由にご利用ください。

会計報告	担当 木村 正 14期
鴨沂高校同窓会の保有資金は、平成7年8月7日現在で、下記のとおりです。	
定額貯金 (9口)	13, 947, 154円
通常貯金 (1口)	75, 858円
合計	14, 023, 012円

『鴨沂新聞』 復刻版発行にご協力を 12期 荒木 功

鴨沂高校新聞部OB同窓会は、十年来、『鴨沂新聞』復刻版発行に向けて努力をしてきました。多くの方々のご協力を得て現在、新制高校移行期の『京一中・洛北高校新聞』などを含めて、昭和24年の創刊号から昭和47年まで発行の『鴨沂新聞』を、数部を残して約100部を収集しております。復刻の主旨は戦後の高校教育史でもユニークな特徴を持つ鴨沂高校の貴重な記録を残そうとするもので、今回の「同窓生の集い」にはその一部を展示する予定です。復刻版発行については財源など多くの困難を抱えていますが、同窓会の皆様にはその主旨をご理解の上ぜひともご協力をお願いします。差し当たって、古い鴨沂新聞をお持ちの方、また、復刻版発行に際してどれくらい購入希望があるのか把握したいと思いますので、はがきで下記住所(新聞部OB事務局)までその旨ご一報いただければ幸いです。 610-11 京都市西京区御陵大枝山町1-7-7 荒木功

011

くはこアニヤ

50円切手
要

キリトリセン
郵便はがき

602

西陣郵便局

私書箱20号

鴨沂高等学校同窓会 行

出席者数把握のための返信です。きりとり、10月20日迄に投函ねがいます。通信欄も、よろしくご活用程おねがいます。

キリトリセン



平成7年1月17日未明、M・7.2の大地震は、約40秒間大地をゆるがせ阪神地域に潰滅的な被害を与えました。あの日ドッシーンと巨人の大足が胸元に踏み込んできた感じ。続いてベッドごと右へ左へと揺すられ続け、真っ暗な中、ふるいにかげられた石ころのようでした。布団の上へ衣類箱や本が雨霰と飛んできました。ザザザア、ガチャンガチャン、ジャリジャリと壊れる音ばかり。

枕元の懐中電灯をつけると部屋中、土壁や埃で真っ白。パジャマの上に防寒着を羽織り、履く物が無いのでトイレのスリッパをつっかけ、主人は風呂場用のゴムの短い靴を、足指を締め乍らつっかけ逃げて出しました。玄関へはピアノと本箱が凭れ合っていて通過できず、母の部屋の窓から庭へ出ました。

夜がしらじらと明けてきて、近所の惨状を見て声も出ません。木造家屋は軒並み1階が押し潰されて平屋と化し道を塞いでいます。近所の人も絆纏や毛布を被って出てきました。「母ちゃん母ちゃん頑張れ。」と子供の悲鳴に近い叫び。人手も機械もなく助ける事もできません。

夜は停電の中、余震も度々で傾いた応接間に4人共靴を履いたまま雑魚寝をしました。4日目に92才の母を岐阜の親戚に預かってもらい、7日目にやっとジープの都合がつき、窓のない所へは個展の為に準備してあった百号の作品6枚を、涙し乍ら額ごと打ちつけ、夜中に京都へ脱出してきました。

6千人もの人が無くなった中、命拾いができた事を感謝し、シンプルライフで、生きてゆきたいと思っています。

吹奏楽部OB会

中川義雄 藤田陽三 林晃

去る6月11日、北文化会館に於きまして、現役諸君が平安学園吹奏楽部とジョイントコンサートを催しました。現役諸君の努力と、皆さんのご支援、ご協力の元に無事終えることができました。長らくOB会としての活動は途絶えていましたが、これを機に現役との交流を深めつつ、独自の活動を続けていきたいと思えます。また、あと数年で創部50周年を迎えます。記念すべき行事として、何か企画していきたいと思えますのでご協力お願い致します。

交通研究会OB会

1期 沖中忠太郎

我々交研OB会は、ここ十年ばかり以前から年一回の例会に集まるようになり、情報交換と親睦の時を持っている。現在消息が判っていて連絡を取り合っている会員は1~4期の17名で、例会には毎年6~10名前後の参加がある。例会はめぼしい交通機関の施設、車両などをターゲットの乗り歩き中心の一泊旅行で、例えば近鉄北勢線のナローや大井川鉄道のアプト式路線、東武スペースの試乗等。

33会

11期 川合洋子 藤田陽三

私たち11期生は卒業後30年の節に、全国(世界にも若干)に散らばっている同窓生によびかけて平成元年(1989)3月21日に恩師も20数名お迎えし、京都けあげの都ホテルに220名余が集まりました。以後、オリンピック(夏季・冬季)の年に集まろうということに約束し、会の名前も昭和33年度卒業というところから、33(サンサン)会と名づけ、名簿整理や東京グループなどと連絡を取り合い、明年(平成8年)の9月に第4回目の同期会を計画しています。

朋駿会

1期 安田朝子

S24年度卒の一回生としてはH元年2月に宝ヶ池プリンス・ホテルで卒業後はじめての第一回同窓会を開き、其の後、不定期ながら京阪神在住の同期生を母体とし「朋駿会」と名付けて会合を続けている。毎回の幹事は在学当時のクラス単位で持ち回りとして現在まで開かれて来た。去る6月3日は東京から1名、浜松より1名の参加者もあり、計26名で開かれ、お互いの健在を確かめ合った。次回の幹事は、辻知之氏と森美賀子さんに決定。今後、京阪神以外の方々でも多くの参加を希望している。

自由な広場

3期 末川 清

学窓を巣立って何十年か経ち、私たちの同期の仲間もぼつぼつ定年退職する頃となった。同期の年一回の集まりでは、こうした仲間たちのこれからの暮らしや仕事話題になる。A君は高校時代から好きだった山登りにもう一度チャレンジするのだと張り切っているし、B君は自宅をアジアからの留学生に開放して若い人達と交流したいという。いずれも「出世」や「金儲け」と縁のないボランティアな過し方であろう。こうした抱負を気ま、に語り合えるのが同窓会の良さである。

同窓会に集うこと自体がボランティアな行動なのであるから、できるだけ多くの人達が集まるよう多彩な催しがあったらいい。卒業年次が異なるもの同志が集まる総会であれば、同じ運動部の先輩と後輩がともども「北運」のコートに集まってOB親睦試合をすることだってできるであろうし、新制高校として発足した当初の数年間をともに体験した卒業生同志が、いったいあの学制改革とは何であったのかを語り合うこともできるであろう。自慢の手づくりの品や料理をもちよってバザーや食堂を開くことも条件さえ整えばできることだろう。ホーム・ルーム担当の先生を囲んでのクラス会を昔懐かしい特別教室を使って開くこともできたらいい。

なにしろ1期から数えて老若男女2万ばかりの同窓生がいるのだから、催しのアイデアに不足することはない。今年の総会では、こういうイベントを、来年は趣向を変えてこういう催しで、というふうに変えていくのも案外おもしろいかも知れない。

要するに同窓会とは、「出世」や「金儲け」と縁のないボランティアな「自由な広場」なのであるから、各自は、この広場を確保するための最低限度の条件づくりさえ果たせばよいのであって、あとは、この広場を私たちの多彩なアイデアで自由に活用していくことであろう。こんなことをいえば、「自由な学園」を満喫できた私たち三期生の『夢よ。もう一度』だと一笑に付されるかもしれないが。

毎年六月がめぐってくると、教育実習中の学生のために、巡回指導に出掛ける。二百余名の英文の学生のうち、教職課程を履習する者が十名ぐらいいるためである。私は今年は四名を担当した。

中学校へ到着して来意を告げる。ほとんどは愛想よく案内してくださるが、中には訪問販売とでも勘ちがいされるのか、胡散臭そうに、上から下までジロジロ点検される事もある。

校長室はクーラーがきいているが、学生たちの控室や職員室は、扇風機がけだるそうに熱い空気をかきまわしているだけである。

学生に会う。「地獄に仏」。心から喜こんでくれる。頭からバケツで水をかけたような汗。

汗をぬぐうタオルを握りしめ、テキスト・フラッシュカード・テープコーダー・チョーク・出席簿・それに生徒の気をひきそうな種々の教具・教材。……重装備。

教室に入ってみる。ムットする人いきれ。教室内の指示を日本語でする中学もあれば、「オーライ、リピートアフターミー」と流暢に英語を使う中学もある。静かに熱心に聞いてくれて、どんどん手の挙がる教室もあれば、映画「暴力教室」の主演者によさそうなのが三人もいる教室もある。

学力差の歴然としている生徒のいるクラスでの英語授業を、どのように進め、どのようにまとめるのか。テイチングプラン（教案）作りのために、学生たちの控室は深夜まで照明が消えないという。

実習生に見送られて校門をあとにする。気がついてみると、自分も汗びっしょり。蟬しぐれが一段と暑苦しい。

三鴨会のカナダ旅行

三鴨会とは、三期の有志が毎年1泊の旅行と春、秋2回のゴルフを楽しむ親睦を深めているグループである。平成4年には還暦祝いにハワイへゴルフと観光に行って来たが、今年はカナダへと2度目の海外旅行を行った。平成7年7月7日17時、関西国際空港から一行31名は七夕の星の下を勇躍空路バンクーバー経由でトロントへ向かい、現地時間午後7時にトロントに着いたが、時差の関係でトロントは7月7日！我々三鴨会一行は、平成7年7月7日を2日過ごしたことになった。トロント1泊、ナイアガラ1泊、バンフ3泊、バンクーバー2泊の7泊9日の楽しい強行軍であった。

トロント空港から市内のホテルへ向かう途中、オンタリオ湖岸に出たが、一瞬大西洋かと思わせる程広大な湖にびっくりした。ナイアガラでは川が滝となる瞬間をすぐ真横から見たり、観光船「霧の乙女号」に乗って、滝の水飛沫を浴びながら眼前に滝を見る醍醐味を味わった。バンフではカナデアンロッキの懐にそびえ立つ城、バンフスプリングスホテルに滞在、バンフスプリングスゴルフコース、ボウ川下り、コロンビア大氷原のアサバスカ氷河の水で水割り、これが最高の贅沢だった。しかし何と言ってもカナデアンロッキの雄大な迫力と美しさを満喫出来たことは嬉しい。バンクーバーでは、英国風の街並が美しいビクトリアを観光、その美しさに驚嘆した。

この季節カナダは夜10時過ぎ迄明るい。ショッピングやドリンクで、毎晩12時過ぎ迄夜を楽しんでいたが六十ウンオのおじ(い)さん、おば(あ)さん達は元気そのものであった。来年はスペインだとか。

絵・編集・レイアウト 3期 稲田昌子

キリトリせん

10月29日
母校に集う会に
ご出席 欠席

いずれかに 印をおつけください

年卒 期生

ご芳名 _____

旧姓 _____

ご住所 〒 _____

お電話 _____

通信欄: _____

キリトリせん